

# 第29号

平成27年(2015年)  
2月発行  
白石区ふるさと会会報  
(年2回発行)



## 第39回ふるさとまつり来場者4万人を突破!

### 若者プロジェクト

札幌市ポプラ若者活動センターの協力の下、10～30代の若者46人が集まりました。恒例の白石大鍋(キムチ鍋)や、ステージでの「白石〇×クイズ」などでふるさとまつりを大いに盛り上げ、東日本大震災被災地支援のための募金活動も行いました。



「片倉鉄砲隊による古式銃演武」

※実弾によるものではありません。

### 伝統・文化の継承へ

平成26年7月19日(前夜祭)20日(本祭)の両日、白石区ふるさとまつりが区役所駐車場と区民センターで盛大に開催されました。

会場では、時折風が強く吹く場面もありましたが、子どもから大人までの多くの方に、夏のひとときを楽しんでいただきました。

本祭は、白石郷土芸能札幌本陣太鼓による熱気溢れる太鼓演奏から始まり、毎年恒例となっている白石区連合女性部連絡協議会と南郷小学校の児童などによる「白石音頭」が会場を大いに沸かせていました。白石音頭は、白石区の伝統を今に伝え、祭りに花を添える毎年人気のプログラムのひとつで、昭和49年の制作以降、長い間区民に親しまれています。

また、第36回から毎年参加している片倉鉄砲隊が今年も見参。甲冑武者が会場内を練り歩く姿は、圧巻の一言。今回は、新たに古式銃演武が初披露されました。「放て」の号令のもと、花火の炸裂音が会場内に鳴り響くと、会場からは大歓声が湧き上がりました。

例年、魅力あるステージイベントを行い、来場者の皆さまに楽しんでいただ

### シャトルバス運行

1人でも多くの区民に「ふるさとまつり」へ来場いただくため、例年、本祭の日に行っている北郷・川下や米里・菊の里方面のシャトルバスを昨年に引き続き今回も無料で運行いたしました。

中央バス様のご協力により、運行ダイヤは大きく乱れる事も無く、例年よりも多い1,000人を超えるお客様にご利用いただきました。

### ふるさとまつり

1面

### ふるさと会活動報告

2、3面

### 会長あいさつ

### 寄付者ご紹介等

4面

今年も盛大に開催されたこの祭りには、会場の準備から後片づけまで、延べ329名の方々にスタッフとして協力いただきました。誠にありがとうございました。

今年も盛ですが、ピング大会では、道内連携企画で登別市と岩見沢市から宿泊券やお米など、北海道コカ・コーラボトリング(株)様からは製品1年分を提供いただくなど、例年以上の豪華景品を用意できました。

ふるさとまつりでは、東日本大震災以降毎年被災者支援事業を行っており、今年で4回目となりました。今回は、白石区の人気マスコットキャラクター「しろうっぴー」にもお手伝いしてもらい、多くの方から義援金をいただきました。義援金など合計24万3千664円を、白石区へ避難して来られた方々のまつりへの招待費と、宮城県白石市復興寄付金に充てさせていただきました。



登夢くん  
登別市観光PR  
キャラクター

しろうっぴー  
白石区マスコット  
キャラクター

いわみちゃん  
岩見沢特産物  
イメージキャラクター

〜表現豊かに熱弁披露〜

白石区中学生の主張発表会

10月25日、白石区民センターで、「白石区中学生の主張発表会」を開催しました。この発表会は、自ら考え発表する力を養ってもらおうと、昭和45年に始まった歴史あるもので、今回が45回目になります。区切りの45回ということで、町田札幌市教育長にもご来場いただき、開会式でご挨拶をいただきました。

発表会では、宮城県白石市から弁論大会優秀者を招待し、発表していただきました。

更に今年は、過去のこの大会で優秀な成績を挙げた立命館慶祥高校の佐藤彰恵さんが、全国高校生弁論大会で最高位の内閣総理大臣賞を受賞したことから、ゲスト発表者として受賞論を披露していただきました。この大会の経験者の一段と成長した姿を見た来場者からは「感動した」という声が多く寄せられました。

今回は、戦争・平和問題などを取り上げた発表が多く、中学生のうちから社会のことを一生懸命考えていることがうかがえました。

3年生の部最優秀賞の齊藤龍一君（白石中学校）と優秀賞の佐々木深優（みゆう）さん（柏丘中学校）は、宮城県白石市へ派遣され、白石市立小原中学校で交流したり、白石市長を表敬訪問したりするなど、白石区と白石市の友好を更に深めることになりました。

今年から大会の様子はほぼ全編、ふるさと会のホームページから動画で観られるようになっていきます。ぜひご覧ください。



3年生の部最優秀賞  
齊藤 龍一君



ゲスト発表  
佐藤 彰恵さん

「白石でっち奉公」

〜地域の小中学生が就労体験〜

当会は、「次代の白石を担う子供たちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度に「白石でっち奉公」を始めました。



当初、2校70人でスタートしたこの事業は、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただき、今年度は区内全中学校8校、小学校2校の約千4百人が参加し、169事業所の受入協力により実施される大きな事業となりました。

今年度は、北陸銀行白石支店で就労体験の様子のパネル展を開催したほか、新規に用意したのぼり旗を活動中に掲げて、区民に事業をPRしました。来年度以降も実施する予定ですので、皆さまもぜひご協力をお願いいたします。

でっち奉公受入企業  
募集中

〜地域の子どもを地域で育てる〜

子どもたちにとって、普段、学校や家庭ではできない貴重な体験となります。

白石区ふるさと会では、引き続き一日就労体験事業を行っていきます。小中学生の受け入れにご協力いただける事業主様は、事務局までお気軽にお問い合わせ下さい！

〜仲よく楽しく国際交流〜  
子どもワンダーランド

白石・凄いいし・楽しいし



小学生が外国人留学生やJICA研修員と交流する「第10回白石区子どもワンダーランド」が6月28日にリフレサップポロで開催され、区内の小学生約100人が参加しました。

外国の人たちは、19カ国27人が参加。各国の「はじめまして」の言い方を教えてもらい、子どもたちも、「ムイント プラセール エン コセニエールロ(ホルトガル語)」などと外国語で答えていました。

それから、さるそばドリブルリレーなどのゲームや、サイン会・おやつタイム・ダンスの時間も笑顔いっぱいでした。

また、今年度は札幌国際芸術祭に関連したコーナーもあり、全員で人文字を作ることに取り組みました。

参加した外国の人からも子どもたちからも「楽しかった」という声が多く、イベントが終了した後も別れがたい雰囲気でした。大学生ボランティアも大勢来てもらい、進行協力をいただきました。

このイベントのダイジェスト動画がふるさと会ホームページから観ることができます。賑やかな交流の様子をぜひご覧ください。



## 「月寒川にぎわい川まつり」

〜川で遊ぶ機会を子どもたちに〜

子どもたちに身近な自然に接する機会と親子のふれあいの場を提供し、自然環境について考えるきっかけをつくらうと、当会などで構成する実行委員会が、毎年夏に開催している月寒川にぎわい川まつりは、今年度で19回目になります。



今年度は7月26日に開催。当日は朝から小雨が降る中、親子連れなど約700人が参加しました。昨年度に引き続き、高校・大学生ボランティアスタッフといった若者の支援を得て、円滑に実施できました。

子どもたちは「月寒川探検隊」として元気に川を探検。また、チューブ乗り、カヌー、水車発電実験など実施。参加者は夏の日を自然の中で楽しく過ごしました。

## 当会ホームページのご紹介

当会では、「しろいしおもしろい誌イベント情報」を開設しています。

白石区中学生の主張発表会の模様も配信しております。

お問い合わせは

<http://www.fipper.jp/pages/shiroishi/>

※掲載した二次元バーコードのリンク先はスマートフォンのみ対応しています。また、一部機種には対応していません。



「サイトはじまり」

## 今年度2回目の「白石区まち美化プログラム」活動を実施

このプログラムは、地域企業や団体と区役所が協働し、区内道路などの環境美化に取り組みます。今年度も、利用者が多い「白石こころど」(旧 白石サイクリングロード)約7.2kmを活動の場を選び、春に続き11月6、7日の2日間に清掃を実施し、計46社・352人が参加しました。落葉の時期だったこともあり収集したゴミは400の袋で708袋となりました。



活動中は、ラジオ中継が入り市内をはじめ全道にこの活動を知っていただく良い機会ともなりました。来年度以降も引き続き実施予定ですので、皆さまもぜひご協力をお願いいたします。

## 自動販売機を通じたご寄付

昨年、白石区役所とまちづくりパートナー協定を締結した北海道コカ・コーラボトリング(株)様の働きかけにより、防災対応型自販機設置者様から、売上の一部を当会にご寄付いただくことになりました。対象の自販機は「しろっぴー」デザインが目印です。【設置者・白石区母子寡婦福祉連合会様、北白石地区センター運営委員会様、(株)コンベンションリンクエージ様、ムトウ建設工業(株)様】この場をお借りして御礼申し上げます。



## 鬼小十郎まつりへの参加



歴史文化委員会では、「さっぽろ白石片倉鉄砲隊」設立に向け各種の活動を行っています。

10月3、4日には、委員2名が、宮城県白石市で行われた第7回鬼小十郎まつりへ宮城県の片倉鉄砲隊の一員として参加。

片倉鉄砲隊からの直接指導の下、射撃場で古式銃の射撃訓練を行ったほか、まつりのイベントに参加し、経験を積みました。今後も活動を続け、白石区での鉄砲隊の設立と火薬を使った演武披露を目指していきます。

## 雪まつり大雪像制作団体への激励を実施

1月21日、総務委員会の委員長ほか3名が大通4、5丁目会場で大雪像を制作中の陸上自衛隊とさっぽろ雪まつり大雪像委員会を激励訪問しました。

訪問先では、みかんと缶コーヒーを差し入れ、委員長から激励と感謝の言葉を伝えました。

さっぽろ雪まつり大雪像委員会代表の森岡氏からは「来場した皆さんが感動するよつな雪像を必ず完成させます。」とお礼のことばをいただきました。



# 会長あいさつ、寄付者のご紹介、会の紹介及び入会案内

## 会長あいさつ

白石区ふるさと会会長の武藤です。日頃から、当会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

昨年は、過去の「中学生の主張発表会」で優秀な成績を挙げた立命館慶祥高校の佐藤彰恵さんが全国高校生弁論大会で最高位の内閣総理大臣賞を受賞されました。これは大変喜ばしいことです。日頃、白石区が人情味と風格あふれる素晴らしいまちとなるべく活動しておりますが、地道な活動を続けていけば、こうして実を結ぶのだなと改めて感じたところでございます。

今後も会の活動に全力で取り組んでまいりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶といたします。



## 平成 26 年度寄付者のご紹介

札幌白石ライオンズクラブ 様 80,000 円

当会にご寄付いただいた皆さま（一部）をご紹介します。いただいた寄付金は、中学生の主張発表会で、最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市に派遣する事業などに活用させていただいたほか、今後実施する事業で活用させていただく予定です。このほかの皆さまからもご寄付をいただきました。

この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## ～白石区ふるさと会にぜひご入会ください～

### 白石区のまちづくりに貢献する団体です

白石区ふるさと会は、白石区を人情味と風格あふれる素晴らしいまちに育てていくことを目的として、昭和51年3月に設立されました。現在、区内の8連合町内会を始め、様々な住民組織、企業、官公庁等の団体会員や個人会員で構成されております。

当会は、各地区の文化体育事業、青少年健全育成活動等への助成や、白石区ふるさとまつりをはじめ、白石でっち奉公、中学生の主張発表会などの各種の事業を開催しています。

皆さんもぜひご入会のうえ、白石区のまちづくりを支えてみませんか。

当会へは、白石区に関わりのある個人の方、白石区内でまちづくり活動・企業活動を行う団体であれば、どなたでもご入会いただけます。会員は、会の事業報告や事業計画の議事を行う「白石区ふるさと会総会」への出席や各種事業への関わりを通して、会の活動にご参加いただけます。

### 白石区ふるさと会への加入方法

会費を銀行振込または事務局へ持参していただくことにより加入することができます。

詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

なお、ご加入いただきましたら、白石区ふるさと会会員証（兼年会費領収書）を発行いたします。

〔団体会員：年会費5,000円から、個人会員：年会費1,000円から〕

区分	納入先	備考
銀行振込	北洋銀行 白石中央支店 普通口座 0381179 白石区ふるさと会会長武藤征一（ムウサカズ）	大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。
事務局への持参	下記（白石区役所 2 階総務企画課庶務係）までお願いいたします。	

（問い合わせ先）白石区ふるさと会事務局（白石区市民部総務企画課庶務係）

所在地 札幌市白石区本郷通 3 丁目北 1 電話 861-2405